

一般質問…ここが論点

6月定例会

6月定例会中、12日、13日、14日の3日間で、市政全般について14人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、6月定例会会議録(9月上旬発行予定)を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システム(9月上旬掲載予定)をご覧ください。

日恵野佳代(日本共産党)

子育て支援について

問

出生率低下に歯止めがかからない状況の中で、市の支援策で次の点について要求する。①東三河5市中最高の保育料であるので引き下げを求める。②民営化は違法とする判決が2件あるが、判決をどう受け止めるか。③出産までに20回程度の妊婦検診は、負担が大きいのので無料回数増加を求める。

答

保育料の引き下げは、子育て世代の負担感が



元気な子どもたち

強まっていると認識しており、国や他都市の動向を見ながら、階層区分の見直し等の検討をしたい。違法判決は、早急な民営化により、引継ぎ不十分による混乱と判断しているので、1年かけて引継ぎを行う。妊婦検診の無料回数の増加要望については検討したい。

その他の質問
1 教育基本法
2 集中改革プラン

波多野 努(新政クラブ)

幹線道路の諸問題

問

早期償還可能なオレンジロードの無料化の前倒しに向けて県・道路公社に積極的な働きかけをすべきではないか。市街地の渋滞対策として、豊岡大塚線の早期完成を望むが、御津町との調整状況と県道昇格への見通しについて伺う。

答

オレンジロードの有料期間は30年で平成28年までの予定だが、計画より

も交通量が多く黒字路線となっており、国道23号蒲郡バイパスの蒲郡インター完成時に無料化できるよう強く要望する。

豊岡大塚線は、今後多大な事業費が必要となるため、県道体系に組入れ、県道昇格が早期完成の最善策と判断しており、県と御津町には精力的な働きかけを行なっている。

その他の質問
1 防火帯ビルの安全対策

松本昌成(公明党)

マタニティマークの活用について

問

妊産婦が職場や交通機関等で保護や配慮が受けやすい環境づくりのため、国がマタニティマークのデザインを決めたが、市はこのマークをどのように活用するつもりか。

答

妊産婦にとってやさしい環境づくりを推進するため、市民や事業所には



マタニティマーク

発達障害者の支援体制について

問

平成17年度より発達障害者支援法が施行され1年以上経過しているが、本市の支援体制の整備と取り組み状況について伺う。

答

市福祉課が中心となり関係部局で「連絡会議」を設置しており、一貫性のある相互連携のできる支援体制づくりに努めていく。

喚田孝博(新政クラブ)

多文化共生社会のあり方について